

風連町 名寄市

合併協定書調印式

自然の恵みが人と地域を育み
市民みんなで創る 心豊かな北の都^{まち}



風を連ねて 名を寄せる北の都^{まち}

日時 平成17年2月28日(月) 午前10時より
場所 名寄市 グランドホテル藤花

合併協議書調印式 次 第

- 進行：合併協議会事務局長 石王和行
- 1 開 会
- 合併協議会幹事長（名寄市助役） 今 尚文
- 2 来賓紹介
- 合併協議会事務局幹事 向井原正明
- 3 経過報告
- 合併協議会事務局次長 中西 薫
- 4 協定書調印
- 風連町長 柿 川 弘
名寄市長 島 多 慶 志
- 5 立合人署名
- 北海道上川支庁長 青 木 次 郎 様
合併協議会委員
- 6 主催者挨拶
- 名寄市長 島 多 慶 志
風連町長 柿 川 弘
- 7 来賓挨拶
- 北海道上川支庁長 青 木 次 郎 様
北海道議会議員 加 藤 唯 勝 様
北海道議会議員 佐々木隆博 様
北海道議会議員 竹 内 英 順 様
北海道議会議員 田 淵 洋 一 様
- 8 閉 会
- 合併協議会副幹事長（風連町助役） 池田和憲

合併協議の経過

年 月 日	内 容
平成15年 6 月30日	上川北部5町村任意合併協議会が設立
9 月30日	名寄市も参加し上川北部6市町村任意合併協議会となる
平成16年 1 月22日	上川北部6市町村任意合併協議会が解散
1 月26日	小規模合併を目指し名寄市長が風連町長と下川町長に合併協議を申し入れる
3 月 3日	風連町と名寄市は、合併協議に同意
3 月 8日	下川町は、住民アンケートの結果、合併協議に加わらないことを決定
3 月10日	第1回風連町・名寄市合併検討委員会を開催し合併基本方針を協議
3 月15日	第2回風連町・名寄市合併検討委員会
3 月20日	第3回風連町・名寄市合併検討委員会で「双方に地域自治組織を設け、その制度はそれぞれが選択する」など7項目の協議会設置に向けた基本的考え方に合意
3 月22日 ～27日	合併協議会設置住民説明会を開催（各5カ所）
3 月30日	臨時議会で、風連町・名寄市合併協議会設置を全会一致で可決
3 月31日	北海道知事に設置届出
4 月16日	第1回風連町・名寄市合併協議会（規約・規定、事業計画、予算等を確認） 第1回新市建設小委員会、第1回基本項目等検討小委員会
5 月12日	第2回基本項目等検討小委員会
5 月13日	第2回新市建設計画小委員会
5 月14日	市町村合併研修会
5 月25日	第1回まちづくり懇話会（ワークショップ）
5 月27日	第3回新市建設計画小委員会
6 月 1日	第3回基本項目等検討小委員会
6 月 4日	第2回まちづくり懇話会（タウンウォッチング）
6 月15日	第3回まちづくり懇話会（ワークショップ）
6 月23日	第4回基本項目等検討小委員会
6 月28日	第2回風連町・名寄市合併協議会（新市建設計画策定方針、合併の方式等を確認）
7 月15日	第5回基本項目等検討小委員会
7 月28日	第4回新市建設計画小委員会
7 月29日	第6回基本項目等検討小委員会
8 月 9日	第5回新市建設計画小委員会
8 月11日	第7回基本項目等検討小委員会
8 月16日	第3回風連町・名寄市合併協議会（新市将来構想、議会議員の定数・任期を確認）
8 月23日 ～28日	第1回自治組織検討委員会 第1回住民説明会（将来構想・協議の状況）
9 月 1日	第8回基本項目等検討小委員会
9 月13日	第9回基本項目等検討小委員会
9 月28日	第10回基本項目等検討小委員会
10 月 6日	第2回自治組織検討委員会
10 月 8日	第6回新市建設計画小委員会
10 月19日	第11回基本項目等検討小委員会
10 月22日	第12回基本項目等検討小委員会
10 月27日	第13回基本項目等検討小委員会
10 月29日	第7回新市建設計画小委員会 第3回自治組織検討委員会
11 月 2日	第14回基本項目等検討小委員会
11 月 3日	第8回新市建設計画小委員会
11 月 8日	第15回基本項目等検討小委員会
11 月 9日	第4回風連町・名寄市合併協議会（新市建設計画、すべての協定項目について確認終了）
11 月29日 ～12 月 8日	第2回住民説明会（新市建設計画・合併協議の決定事項）
12 月21日	風連町議会で「住民投票条例」可決・成立
平成17年 1 月 7日 ～19日	風連町住民説明会（町内66カ所）
2 月 1日	風連町「住民投票」 告示
2 月 6日	風連町「住民投票」 投票日
2 月10日	第5回風連町・名寄市合併協議会（合併期日、合併協定書内容を確認）
2 月28日	合併協定書調印式

出席者名簿

(敬称略)

【御 来 賓】

北海道上川支庁長
北海道議会議員
北海道議会議員
北海道議会議員
北海道議会議員
自衛隊名寄駐屯地司令
自衛隊第四高射特科群長
自衛隊名寄駐屯地業務隊長
上川保健福祉事務所名寄社会福祉事務出張所長
上川支庁名寄道税事務所長
上川支庁名寄地区農業改良普及センター所長
旭川土木現業所美深出張所長
北海道上川北部森づくりセンター所長
名寄郵便局長
道北なよろ農業協同組合代表理事組合長
道北なよろ農業協同組合代表理事専務
上川北農業共済組合組合長理事
名寄市森林組合代表理事組合長
てしおがわ土地改良区理事長

郎勝博順一之久廣明一毅行之一厚勝雄光昭
次唯隆英洋宗佳松敏慶 伴雅純 義吉和
木藤木内洩田司藤部谷 橋関田田嵐野橋津
青加佐竹田時門後武伝城高荒篠寺五浅高梅

【町長・市長】

風連町長
風連町・名寄市合併協議会副会長
名寄市長
風連町・名寄市合併協議会会長

柿川 弘
島 多慶志

【合併協議会委員】

[illegible]

春敏一彦真充勝和清治通璋博夫子弘勉繁徹春正夫晃知晴昭肇美光俊子憲文
秀秀英正 俊 寿征紀利 正秀夏正 之 千吉哲 一義道 ひろ喜尚博眞和尚
村野江村口佐藤 本永舘村 口原本見中井 谷光藤寺賀島本橋田崎津田
中中堀川木遊佐林野富中西林上川橋高田黒東熊福齊小野中岡高太山野池今

【町議会・市議会議員】

[illegible]

望克司敏廣宣司治靖之一典文一子尚昭一勝夫義
好利祐正幸範 宏 憲正伸正喜浩正利賢 幹光
中端口野橋嶋内辺藤中松橋木津片辺田栖村宅保
田村山日高多谷渡佐竹植高岩駒宗渡武栗野三々久

【報道関係者】

北海道新聞名寄支局長
名寄新聞社長
北都新聞社長
札幌テレビ放送株式会社名寄支局

明忠郎降
秀三
島田口口
飯山関山

【自治体関係者】

風連町教育長
風連町教育委員長
名寄市収入役
名寄市教育長
名寄市教育委員長
風連町農業委員会会長
名寄市農業委員会会長
風連町代表監査委員
名寄市代表監査委員
名寄市公平委員会委員長
風連町福祉課長
風連町生活課長
風連町産業課長
風連町教育課長
名寄市市民生活部長
名寄市保健福祉部長
名寄市経済部長
名寄市建設部長
名寄市教育部長
市立名寄大学設置準備室参事監
名寄市立総合病院事務部長
上川北部消防事務組合消防長
名寄市議会事務局長

悅行秀忠信夫一三美一剛夫治雄喜豐行薰裕二一章次
良信邦 博昭榮正勝昇 富勝彰茂 忠 裕健 耕
山木栗原崎谷島木利 本下室川内内畑尾 尾藤宅藤
森高小藤山泉廣茂毛池手関小石大山田松今中佐三後

合併の概要と新市の基本施策

1. 位置と地勢

新市は、北・北海道の大河「天塩川」が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東西には北見山地と天塩山地が連なっている。東は雄武町・下川町、西は幌加内町、南は士別市・朝日町、北は美深町と境界を接している。主な山岳には市北東部にピヤシリ山(987m)があり、一級河川为天塩川が朝日町から士別市、市内を経て天塩町へ流れている。

新市は北・北海道内陸部の典型的盆地気候を呈し、四季の移ろいがはっきりしており、寒暖の差が激しく降雪量も多い気象条件を有する。

2. 人口と面積

人口の推移を過去4回の国勢調査で見ると、平成12年の総人口は33,328人で、昭和60年の41,069人から減少傾向にある。

また、年齢階層別人口の推移では、年少人口(14歳以下)及び生産年齢人口(15歳～64歳)は毎回減少傾向が続いている。一方、老年人口(65歳以上)は昭和60年から毎回増加傾向にあり、少子・高齢化が着実に進行していることがわかる。

これまでの傾向で推移すれば、平成27年には総人口28,590人で、年少人口及び生産人口はそれぞれ3,820人(13.4%)、16,310人(57.0%)と減少し、老年人口は8,460人(29.6%)に増加すると予想している。

新市は、南北に約35km、東西に約30kmの四角に近い形となっており、面積は535.23km²となる。

3. 関係市町村の沿革

ア 風連町

明治32年富山県などからの移民が入植し、未踏の地を開拓した。大正13年1級町村多寄村、昭和13年2月6日風連村と改称。この年の4月1日多寄村が分離独立。昭和28年8月1日に町制施行し現在に至っている。

イ 名寄市

明治33年山形県からの移住団体により開拓が始まり、大正4年4月1日1級市町村上名寄村となり、大正4年11月1日町制施行、昭和29年8月1日智恵文村と合併、昭和31年4月1日市制施行し現在に至っている。

4. 関係市町村の現況

風連町と名寄市は、開拓以来道北圏の交通の要衝として発展してきた。中心市街地間の距離も比較的近く地区・地域として一体性・連続性を有している。広域行政においても介護保険、消防事務組合、ごみの炭化施設やし尿収集などを協同で行っている。更に火葬場は共同の施設として建設し活用している。

5. 合併(廃置分合)を必要とした理由

地方分権の推進に対応する行財政能力の向上を図る必要があり、そのため、自己責任能力(量的・質的)の一層の向上が求められている。

また、国の著しい財政状況の悪化、地方交付税や国庫補助金の削減が予想され、財政はますます厳しさを増すことになる。

これらの課題を軽減するためには、合併することにより地方分権時代にふさわしい行政システムの確立を図るとともに、財政規模の拡大による財政基盤の強化、さらには合併に伴う国からの財政支援措置の活用やスケールメリットを活かすなどして財源の確保を図る必要がある。

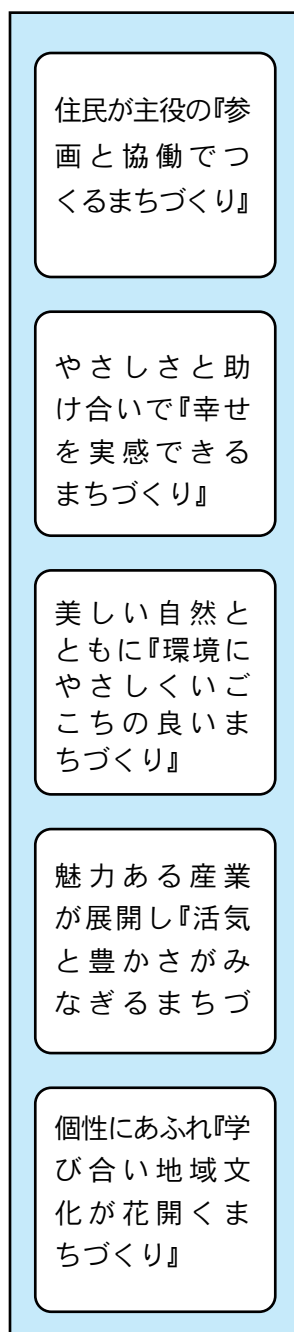
1.人口総数 (平成12年国勢調査)			2.面積 (平成12年国勢調査)		
順位	市名	人	順位	市名	km ²
	全道	5,683,062		全道	83,453.04
1	札幌市	1,822,368	1	札幌市	1,121.12
2	旭川市	359,536	2	芦別市	865.07
3	函館市	287,637	3	紋別市	830.36
4	釧路市	191,739	4	夕張市	763.36
5	帯広市	173,030	5	稚内市	760.80
6	苫小牧市	172,086	6	旭川市	747.60
7	小樽市	150,687	7	帯広市	618.94
8	江別市	123,877	8	富良野市	600.83
9	北見市	112,040	9	士別市	597.28
10	室蘭市	103,278	10	千歳市	594.95
11	千歳市	88,897	11	苫小牧市	561.10
12	岩見沢市	85,029			535.23
13	恵庭市	65,239	12	深川市	529.12
14	北広島市	57,731	13	根室市	512.64
15	登別市	54,761	14	網走市	470.88
16	石狩市	54,567	15	北見市	421.08
17	滝川市	46,861	16	函館市	346.90
18	稚内市	43,774	17	名寄市	314.62
19	網走市	43,395	18	三笠市	302.64
20	伊達市	35,042	19	留萌市	297.30
		33,328	20	恵庭市	294.87
21	根室市	33,150	21	美唄市	277.61
22	美唄市	31,183	22	小樽市	243.13
23	紋別市	28,476	23	釧路市	221.61
24	留萌市	28,325	24	登別市	212.11
25	名寄市	27,760	25	岩見沢市	204.74
26	深川市	27,579	26	江別市	187.57
27	富良野市	26,112	27	伊達市	170.25
28	士別市	23,065	28	赤平市	129.88
29	砂川市	21,072	29	北広島市	118.54
30	芦別市	21,026	30	石狩市	117.85
31	赤平市	15,753	31	滝川市	115.82
32	夕張市	14,791	32	室蘭市	80.64
33	三笠市	13,561	33	砂川市	78.69
34	歌志内市	5,941	34	歌志内市	55.99

風連町及び名寄市ともに人口の減少と少子・高齢化の進行が目立ってきており、このことは、生産年齢人口の減少による税収入の減少と、高齢者人口の増加が社会保障費の増加につながり、財政運営は今後ますます厳しさを増していくことが予測されてる。さらに生活基盤整備や高度情報基盤整備、環境整備など、社会潮流の変化に伴い行政需要はますます多様化、高度化していくことが見通される。これらに適切に対応していくためには、行政事務の効率化、専門的職員の育成・確保各種公共施設の効率的な活用と適正配置の推進などの総合的な対策の強化が必要とされた。

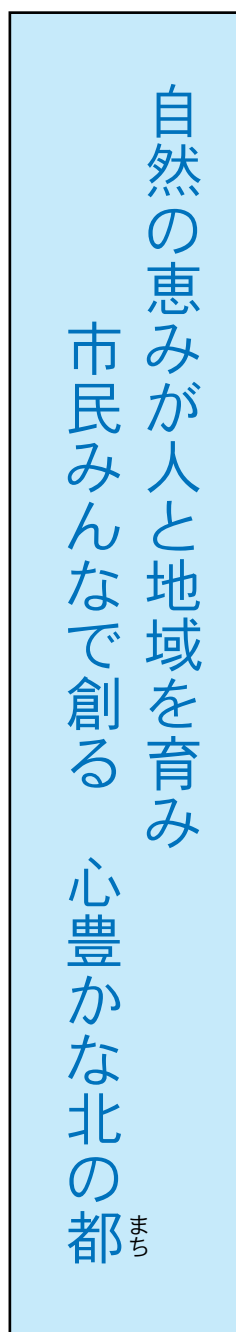
将来像実現のための基本施策

新市の将来像「自然の恵みが人と地域を育み 市民みんなで創る 心豊かな北の都」の実現を図るため、次のとおり5つの基本施策を定めます。

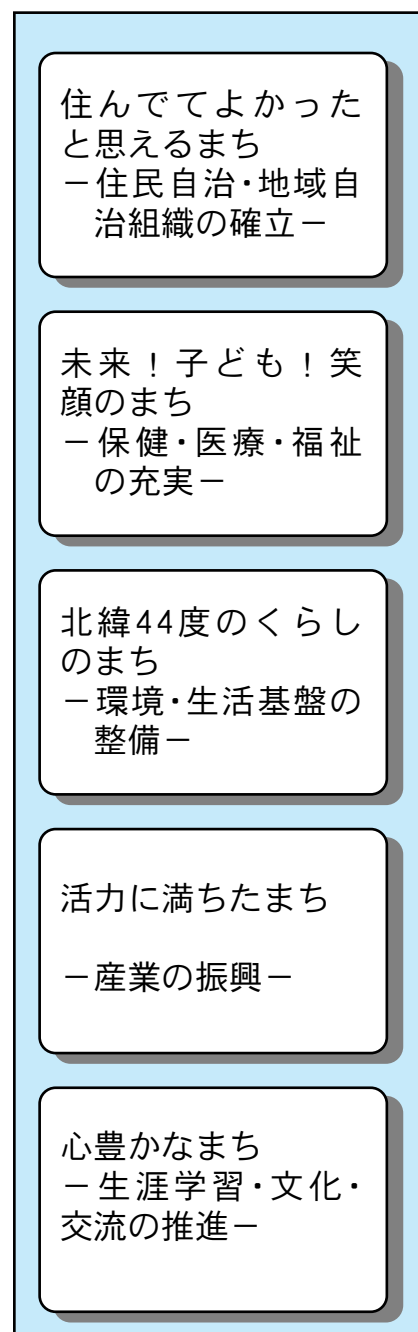
〔新市のまちづくりの基本方向〕



〔新市の将来像〕



〔施策の体系(5つの柱)〕



合併協定書調印者及び署名者

(敬称略)

調 印 者	自治体名	職 名	氏 名
	風 連 町	町 長	柿 川 弘
	名 寄 市	市 長	島 多 慶 志
特別立合人			
	北海道上川支庁	支 庁 長	青 木 次 郎
立 会 人			
	北海道上川支庁	地域政策部長	中 村 秀 春
	風 連 町	議 長	中 野 秀 敏
		副 議 長	堀 江 英 一
		議 員	川 村 正 彦
		議 員	木 戸 口 真
		議 員	遊 佐 俊 充
		議 員	佐 藤 勝
		議 員	林 寿 和
		議 員	野 本 征 清
		学識経験者	富 永 紀 治
		学識経験者	中 館 利 通
		学識経験者	西 村 璋 博
		学識経験者	林 正 博
		学識経験者	上 口 秀 夫
		学識経験者	川 原 夏 子
		学識経験者	橋 本 正 弘
		助 役	池 田 和 憲
	名 寄 市	議 長	高 見 勉
		副 議 長	田 中 之 繁
		議 員	黒 井 徹
		議 員	東 千 春
		議 員	熊 谷 吉 正
		議 員	福 光 哲 夫
		議 員	齊 藤 晃
		議 員	小 野 寺 一 知
		学識経験者	木 賀 義 晴
		学識経験者	中 島 道 昭
		学識経験者	岡 本 肇
		学識経験者	高 橋 ひろ美
		学識経験者	太 田 尚 光
		学識経験者	山 崎 博 俊
		学識経験者	野 津 真 喜 子
		助 役	今 尚 文